

ジャグパル

JugPal

2001年6月1日 第12号



サイバーインタビュー

【サイバー・インタビュー ~PONTAさん~】

はじめに:

今回は静岡大道芸フェスティバルなどでお馴染みの"PONTA"さんです。
様々な演目をこなされるPONTAさんですが、中でも私の一番のお気に入り
彼の飛び切りの"笑顔"です。

それでは電子メールによるインタビューをお楽しみ下さい。(以下Q:は私で、A:はPONTAさん)

[安部 保範]

Q:この世界に入ろうとしたきっかけ等をお聞かせ下さい。

A:僕が、この世界に入ったのは22歳の時です。
実は、実家がお寺でその当時、お寺で3年間修行していたんです。
体育会系で、先輩のいう事は絶対でした。

そこでの嫌な事は、飲み会。
その当時は、まったく飲めなくて、「おれの酒が飲めねえのか！」
なんて先輩に言われると大変でした。
ついでに「何かやってみろ！」というのも日常茶飯事でした。
そのころは、何もできなくて、いつも嫌な思いばかり。

そんな時に、クラウンカレッジというものを発見して、修行後すぐに
オーディションを受けたんです。
そしたら、受かってしまって、両親からすれば驚いた事でしょうね。

修行に入れたはずの息子が突然、クラウンになるなんて言い出して
学校に入ってしまったんですからね。
だから、僕の最初のきっかけは「宴会芸をやりたい！」ということでした。(笑)



Q: PONTAさんはメイク・衣装にしてもそうですが、
演目についてもクラウン、ジャグリング、マジックと観るたびに内容が変化しているように思えます。
まさに現代のキーワード"ダイバーシティ(多様性)"をパフォーマンス上で実践されているかのようです。

そのような意味でも、今度は何を演ってくれるだろうと、PONTAさんのパフォーマンスに接するのが楽しみです。
さて表現上のツールとしては様々なものを取り入れておられますが、PONTAさんのパフォーマンスの核となっている
ポリシーは何なのでしょう?
あるいは言い換えれば、目指している方向性みたいなものをお伺いしたいのですが。

A: "キュリアスジョージ"ってアニメのキャラクターがありますよね。
好奇心旺盛で...まさにその通りなんです。
なんでも、取りあえずやってみたいんですよ。
そして、自分に合うもの、そして自分にとって良いもの、楽しいものをショーに取り入れようと思っています。
だから、方向性と言われても...?
ん~!まだ良くわかりません。やる事がいっぱいあって、見つけるのに時間がかかりそうです。

Q: モスクワのサーカス学校に行かれていたようで、
学校の様子はPONTAさんのサイト<<http://www.mars.dti.ne.jp/ponta/>>で概ね分かりますが、ジャグリングに特化して言えばどのようなテクニックをどのようにして習ったのでしょうか。

A: 僕は、クラウンとしてのジャグリングを習いました。
おもに、クラブとバランス技です。
ジャグリング専門の先生にはディアブロを習いましたが、ディアブロの先生は、ジャグラーとしての先生だったのでテクニックオンリー。
横で、平然と3個のディアブロを扱っている生徒もいました。

でも、クラウンの先生は、「3ボールやっても5ボールやっても同じようなもので数を多くした所で、ただ凄いただけ、お客さんにはわからない。」

ほとんど授業は見せ方(クラウンという立場での面白い演出)がおもでした。
たとえば、ボールを投げて、キャッチ！笑って！また投げて、技があって驚いて、またキャッチ…。文章では、説明が難しいですね。

Q: 学校内あるいは学校外での失敗談を含めたエピソードをお聞かせ下さい。

A: 向こうでは、言葉が不自由だったのもあり何もかもが大変でした。
先生に、「あしたの10時にここにきなさい！」と言われても「え？なに？」と言う事が良くあったり、お金の勘定についても困りました。
書いてあればいいんだけど、50000ルーブルをロシア語でと言われても10も言えないんだから…。

あと、授業料と生活費を盗まれて、それは大変でした。
最後には、ロシアンマフィアだとかいうのも現れたりして、
今考えると、笑い事になってしまいますが。

でも、いい事もあって、友だちがいろいろな所に案内してくれました。ショウを観に行ったりサーカスに行ったりと、いろいろな所に行きました。その当時は、日本でいう漫才のようなものが流行っていて言葉は分りませんが、おもしろかったです。
とても楽しい時を過ごせましたよ。

Q: 最近のパフォーマンスではマジック、しかもイリュージョン系がメインのようですが、もちろんジャグリングを捨てたわけではないですね。

A: はい！今もやっていますよ。
前にも、書いた様にキュリアスなんで、今のマイブームはイリュージョン系なんです。
でも、今、すごく練習してるものがあるんです。それは、クラブ！
今度、オペラに出るんですよ。それも、ジャグラーの役で。どう思います？
何年もクラブに触っていないのに。
ちなみに、今、曲芸の方は江戸曲独楽を練習しています。(^^)

Q: マジックとジャグリングというのは、何かというと双方お互いに引き合いに出されて比較されたりするのですが、演者として何か違いはありますか、あるいは何か思うところはありますか。例えば、練習の仕方とか、こちらの方がウケが良いとか、道具に関してはどうだとか、等々…

A: ジャグリングをやる時に、マジックを取り入れると面白いですね。
海外では、マジック道具のカatalogの中に「トリック」としてジャグリング道具が組み込まれていますよね。

最近、ボールのジャグリングを終えてから、「鳩出し」の要領で、ボールを消したり、クラブを出してみたり…。
ステージじゃ無いと出来ないんですが、結構、びっくりするみたいです。
今度は、何かをやっている、突然、独楽を回した状態を出してみようかと企んでいますよ。出来るかどうか分かりませんが！？(笑)

Q: 6月以降のスケジュールを教えてください。

A: そうですね。7月に新国立劇場のオペラ「マノン」のジャグラー役で出ます。
そのあとは8月に名古屋にて開催されるマジックのコンベンションにも参加します。
10月は大須大道町人祭に初参加。
静岡の大道芸にも行きたいですね。結果待ちですが、行ければ、1回目から出るので静岡と共に10周年を迎えるわけです。
すご～い！ \ (^O^) /
ああ、後「さんまのカラクリTV」に7月頃、違う意味で協力しているの、カットされなければ画面で見られるかな。

Q: その他何でも結構ですので、気が付いたことや、読者に告知(宣伝)したいことなど自由に仰ってください。

A: 何処かで逢うような事があれば、気軽に声をかけて下さいね。
では、ジャグリング&ショウを楽しんでいきまショウ！ {{{(>-<)}}}
ありがとうございました。



東洋医学から見るジャグリングのすすめ

【東洋医学からみるジャグリングのすすめ(第三回)】

私達が生きているこの現象界は、全て陰陽の調和(バランス)で成り立っています。

例えば自然界では火と水、明と暗、天と地、昼と夜、方向性においては上と下、右と左、出と入、外と内、などが一般的に知られていて、誰もがその片方からもう一方をたやすく思い浮かべることが出来ますよね。

そして人体においても、やはり陰の性質と陽の性質とで成り立っていて、そのバランスで健康になったり病気になったり、また、美しい動きが出来たり不快な動きになったりしているのです。

これまで「東ジャのすすめ」で説明してきた感覚性(求心性)と運動性(遠心性)も、もちろん相対する陰陽の性質と言えるでしょう。

「東ジャのすすめ」では、これからも陰陽のバランスについての内容が多く出てきますので、絶えず自分はどこら側に偏っているのか考えながら読んで頂くとジャグリングの練習の仕方が変わってくると思います。

では、前回の予告通り、力点について考えていきましょう。

～力点～ 力の発生するポイント

皆さんが力点と聞いてまず思い浮かべるのは、小学校の理科で習った『テコの原理』の実験で『力を加える場所』ではないでしょうか？

人間も、体のどこかに力を加える(力を入れる)事で各関節を動かすことが出来る訳ですが、この動作はこの関節！と決まっている訳ではありません。

どんなに小さな動作でも、全身の筋肉や関節が複合的に協調し合って使われることにより、滑らかな動作が可能なのです。しかし、全く同じ動作をしても、人それぞれメインで使う筋肉や関節は異なります。

例えば、『剣玉』などはどうでしょう。皆さんは「剣玉」を初めてやった時のことを覚えていますか？

おそらく、手首や肘の筋肉を使って玉を上に乗せたのではないのでしょうか？

ところが、上手くなってくると、実は手首や肘の力はほとんど使わず、下半身、特に膝(ヒザ)の屈伸で玉を上げ、微妙な操作だけを上半身でやるのだということが分かってきます。

ですから、ボールジャグリングの前に剣玉をかなりやった経験がある方は、下半身の使い方がうまく、同じカスケードでもボールを投げ上げる力が下半身から出ています。

投げ上げる力が腰よりも下から出ているのですから、上半身は投げ上げる事に力を使わなくて済むので、その分脱力する事が出来、感覚性伝導路をフルに発揮出来る状態になれる訳です。

もちろんそうなれば、楽にボールコントロールが出来ますし、体の負担もグンと減ります。

皆さんのサークル内でもジャグリングの練習で疲れが手首にくる人もいれば肩がこる人もいますし、腰痛になる人もいますよね？

同じように練習していても、力の発生するポイントが個人個人によって皆違うので、負担がかかる場所も違ってきます。

また、人それぞれに利き手利き足があるように、よほどの達人でない限り、体の使い方にクセを持っています。

ボールジャグリングを練習している方たちは左右(右手と左手)のバランスはかなり養われているようですが、上下(上半身と下半身)のバランスが悪い方を大勢見掛けます。

他の芸事では、立ち方、歩き方、座り方等、姿勢や下半身の鍛錬をみっちり稽古するのに対し、アマチュアジャグリングサークルではいきなり技の練習から入ってしまいますし、それを注意する師匠や先生がいないのも問題です。

ですから、カスケードというボールの動きになってさえいれば、体の使い方が不自然であっても、また、体のどこかに負担のかかる動きであっても、出来ていると自分で判断し、次の技の練習に入る傾向が強いようです。

同じ技でも自分より美しく自然な動きで出来ている方がいれば、積極的にどこが違うのか観察し、どのようにすればいいのか教えを乞うべきです。

他の芸事でもプロの世界では、出来る出来ない、が問題ではなく、内容を重視します。

ですから見かけが出来ていても師匠から「ダメだ、やり直し」と言われたり、見かけが出来ていなくても、意識の配り方、体の使い方が正しく出来ていて失敗したのなら「よし、もう一度」と言われるわけです。

どうでしょう、皆さんは技のレパートリーは増えているものの体の使い方そのものに行き詰まりを感じていませんか？

§ 次号予告 §

私の治療院では、コックさんがフライパンを持って来たり、ミュージシャンがギターを持って来たりします。

これは、負担のかかっている仕事のフォームや姿勢を矯正するために、治療と一緒に負担のかからない仕事のフォームを身に付けなければならないからです。

もちろん、趣味のジャグリングでも同じことが言えます。今回は、力点の話をもっと掘り下げて考えていきましょう。それでは、次回をお楽しみに！

[MOMONTA]



バランス by 高橋 さとみ



サークル紹介

このコーナーでは、全国各地のジャグリング・サークルを順次紹介していきます。
今回は「横浜大道芸倶楽部」の紹介です。

また日本ジャグリング協会のジャグリングクラブ紹介のページ<<http://www.juggling.gr.jp/>>にも国内の多くのクラブが紹介されています。

横浜大道芸倶楽部 YDC (神奈川)・・・本号
<<http://www.01.246.ne.jp/~yuji-k/>>
札幌ジャグリングクラブ (北海道)・・・11号
<<http://page.freett.com/sjc/>>
大津ジャグリングクラブ (滋賀)・・・10号
<http://www.biwa.ne.jp/~torisan/fr_juggling.htm>
ジャグリングクラブ tossLife (東京都)・・・9号
<<http://www1.linkclub.or.jp/~swing9th/tossLife/>>
大阪大学ジャグリングサークル Patio (大阪)・・・8号
<<http://patio.wo.to/>>
京都大道芸倶楽部 Juggling Donuts (京都)・・・7号
<<http://juggling-donuts.org>>
福岡ジャグリングクラブ FJC (福岡)・・・6号
<<http://zodiac30.cse.kyutech.ac.jp/~ooshige/Juggling/>>
筑波大学附属駒場中学・高等学校ジャグリング同好会
筑駒Jugglers (東京)・・・5号
<<http://www.geocities.co.jp/Berkeley/1242/>>
所沢ジャグリングクラブ JUGFLY (埼玉)・・・4号
<http://www2c.aimet.ne.jp/ichiro_t/juggling/jugfly/>
綾瀬ジャグラーズミーティング JAM (神奈川)・・・3号
<<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Sumire/9108/>>
ジャグリングクラブ マラパリスト (東京)・・・2号
<<http://www.malabaristas.com>>
ジャグリングサークル JUG (大阪)・・・1号
北里大学獣医畜産学部ジャグリングクラブ (青森)
<<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Labo/5397/>>
ホゴノプロフィス (仙台)
<<http://member.nifty.ne.jp/HOGONOPRO/>>

ジャグリング友の会 (東京)
<<http://www.hi-ro.com/~sin/>>
立教大学パフォーマンスサークル どりいむ・ぼくす (東京)
<<http://www.rikkyo.ne.jp/~00ia007t/doribo.htm>>
小平ジャグリング倶楽部 (東京)
<<http://www.mailhost.net/~masaki/kjc/>>
ジャグリングクラブ まめぞう (東京)
<<http://mamezou99.tripod.co.jp/index.html>>
市原ジャグリングサークル JugJug (千葉)
<<http://www3.plala.or.jp/jugjug/>>
千葉大ジャグリングサークル ポッサム
<<http://www.sakurasoft.co.jp/~possum/>>
千葉東高校ジャグリング同好会
<<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Cafe/9745/>>
静岡大道芸サークル WAPS (静岡)
<<http://www.tomi103.com/waps/>>
New Japan Juggling Club (愛知)
<<http://www.katch.ne.jp/~mine/jug/>>
金沢大学ジャグリング & マジックサークルJMC
<<http://jump.uic.to/uen0/>>
福井ジャグリングチーム FJT (福井)
<<http://bishop.fuis.fukui-u.ac.jp/~nishio/fjt/>>
四国ジャグリングクラブ (新居浜)
<<http://powers.gr.jp/four-live/>>
九州ヨイコ軍団 (北九州)
<<http://www.iris.dti.ne.jp/~nitsue/>>

【横浜大道芸倶楽部】

横浜大道芸倶楽部(よこはまだいどうげいくらぶ/略称YDC)
神奈川県横浜市の大道芸サークル
1999年4月発足
ジャグリングを中心に練習している
練習日・毎週木曜午後7時～9時
本町小学校体育館 横浜市中区、桜木町駅徒歩5分)
会員数・練習参加者は毎回30人前後
名簿上は倍はいそう
会費・練習参加1回100円のみ

(注)この先インタビュー形式にて進めていきます。
話し手は、事務局長・野地健人です。
なおインタビューは架空で、ジャグパル編集者とは関係ありません。

YDCってどんなサークルなんですか？

簡単に言えば、上に書いてある様など。

簡単過ぎませんか。もちょっとあーだ、こーだと。

単純明快、後はそれぞれ来ているやつが自分の感覚で捉えてるから。
まあ来れば分かるってことで。

そうかもしれませんが、それではサークル紹介にならないので何かこう・・・。

それもそうだな、少し話すか。
まあ俺の考えではな、サークル名にもある通り、うちは大道芸サークルであって、決してジャグリングサークルでは無いって事だ。
だからこのジャグパルで紹介されていいものなのかどうか。

ジャグリングサークルじゃなかったんですか？

違うんだってば、確かになジャグリングがメインではあるけど、パントマイムやマジックやってるのもいるぞ。
な、あくまでも大道芸サークル。

そうだったんですか。でもあのジャグパルなんで・・・。

ジャグリングに関してな。ジャグリングに関してはよそのサークルの方がレベルはずっと上だろ。

レベルの低いサークルだと。

はっきり言うなよおまえ。でもな、中には上手いのもいるぜ。別にジャグリングのレベルなんて気にして無いからいいんだけどさ。
大体なジャグラー養成所じゃ無いんだからさうちらは、

どこぞのサークルのやつみたいにな、こんな難しい技が出来る、あんな難しい技が出来るって鼻にかけるような、そんなやつらは作りたくねえもん。

どこぞのサークルって・・・

そりゃ言えないべ、編集者に迷惑だろ。どこと限った事でもないけどさ、いるだろそういうのが。

確かにいますけど。

上手いのは上手いでいいんだよ、うちのサークルのやつらにも上手くなってもらいたいよ、ただ鼻にかけるようなやつらにはならないでくれって。

アマチュアジャグラーに多いだろそんなやつって。そんなやつがパフォーマンスしたりしてんの見たりするじゃん、ケツかと思うわけさ。

野地さん自身は上手いんですか、ジャグリング。

ヘタだろ。でもな、そんなやつらと同じステージに出る時は、おまえらよりいいショーが出来るぜ、って自信もっていいけどな。

いいショー出来てるんですか？

それは、お客さんの感じ方だからな。自信だけ。

話が野地さん個人になってきたのでサークルの話へもどしましょう。

サークルな。今回な、原稿書かなきゃならないんで、参考までにうちのサークルのメンバーリストに『あなたにとってYDCとは？来て良かった事は？』と、流したんだ。メンバーリスト23人いて返って来たの二人だけだぞ。

二人だけっすか。つまりはそんなサークルだあ。

それ言われると返す言葉も無い。

で、返ってきたのは何て書いてあったんですか？

一人目は男40代。
『簡単に言えば、年齢層に幅があり楽しめるって事かな。アフター9ってのもいいかな。未成年いるからだめだね。これは、気軽に練習出来る、が、いいかも。頼めば教えてくれる気軽さがいいかも。』てことだ。

年齢層に幅があると。

幅あるぞ。上は会長で73歳、下は中学14歳。

73歳ですか、ご隠居ですな。

ばか、ご隠居なもんか。イベントでもバリバリやってるぞ。ちなみに得意はディアボロな。

それはすごい。で、アフター9とは？

練習が9時までだろ、その後、毎週じゃあないけどな居酒屋で一杯よ。これ結構重要。

もう一人の意見は？

女、多分30代。

多分て事はひょっとして40代かもしれないと。

ばかだな、そういうときは、20代かも、って言っとくもんだろ。

『YDCは不思議な所です。大道芸なんてマイナーな趣味に、毎週2、30人も人が集まるのがまず不思議。

メンバーも男女混合で10代から70代までと幅広く、どんな人でも仲間を見つけやすいと思います。それから自分のペースで好きなように練習出来るのもGood。

技を極める練習の鬼のような人がいるかと思えば、私のような万年3ボールのお気楽ジャグラーもいて、聞けば気軽に教えて貰えるのもありがたいです。私は投げ銭が貰えるような芸は出来ませんが、明日の"宴会スター"となって飲み代を浮かすのが夢です。』だと。

鬼のように練習する人もいるとか。

ああいる。黙々と技を追求してるやつな。お気楽ジャグラーも一杯いるぜ。いいんだよどっちでも。

なんとなくYDCが分かってきたような……

分かってんのかいホントに。最後にYDCへの俺の基本理念とやらを言っとくか。

さっきから分かるようにYDCは幅広い年齢層がいる。そんな色んな人達との縁を大切にしていってほしい。ジャグリング、大道芸という共通の趣味を通して知り合った人達との縁を。

人との縁ですか。

そうだ。ジャグリングのレベルなんてどうでもいい。

そこまで言いますか。

言っても構わない。だからうちは、忘・新年会、ボウリング・ビリヤード大会、花見、バーベキュー、合宿、運動会、毎月の会報などなど色んな事を企画してる。参加者も幅広い。

なるほど良くわかりました。

分かったか。でもなこれは、今は俺が事務局長やってるからそういう方向性なだけで、もし俺が辞めたら全く違う性質のサークルになるだろう。

それに今であっても、ここまで書いてきたことはあくまでも俺がそう思ってるだけであって、メンバー個人個人の考えではないぞ、洗脳はしてないからな。

野地さんの考えとメンバーの考えに相違があると。

そりゃそうだろ。だからといってどうということはない。

ではあくまでも事務局長・野地さんだけの意見ということ で。

そ、だから異論、文句、意見は俺個人に言ってきてくれ、連絡先は別記しておく。

ページの都合もありますのでそろそろ締め。

そだな、ついでに言っとくけど、YDCは特定のプロとは一切関係ないサークルだ。

団体としてもジャパンジャグラーズアソシエーションとも、日本ジャグリング協会とも、横浜ジャグラーズサークルとも全く別物ということだ。それらの人々に迷惑だろうから、認識しといてくれ。

ジャグパルの編集後記みたいですね。

そうだろ、その辺はちゃんと断つとかないとな。あと、ジャグリングサークルではなくて大道芸サークルだってことも。

はいはい。分かっております。

別にどこのサークルの誰が遊びに来て構わんよ。そんなふうに遊びというか練習しにきてるやつらもいるから。

来るものは拒まず、と。

そう、去るものは追わず、な。

ありがとうございました。

しかし長くなったな、大丈夫かな編集者。所々カットされてたりしてな。ヤバイ発言とかあったりしたから。

ボツかもしれないですよ。

かもな。YDC内部からも批判されたりして……。

[事務局長 野地健人

<nojiken@dokomo.ne.jp>/tel:090-1545-4828]



エッセイ

【ジャグリングと明治維新】

ここ数年ジャグリングを楽しむファンは確実に増え続けています。

オリジナリティ溢れる国内アーティストが数多く輩出され、世界のジャグリングシーンを席巻するような日は来るのでしょうか。

世界各国で活躍して名を馳せるような日本人ジャグラーの登場が珍しくなくなるような日が来るのを期待して待っています。

ジャグリング(曲芸)は確かにテレビや大道芸のおかげでポピュラーになりましたが、古来日本にも、特に江戸時代には素晴らしい曲芸文化がありました。

そんな日本の曲芸は欧米に驚嘆と共に受け入れられ、世界のジャグリング界に多大な影響を及ぼしました。にも関わらず国内ではその特異な技術は明治期以降、文化として広くは伝承されずに現在に至っています。

このあまりにも長い空白の期間は、民衆から曲芸を遠ざけ、その楽しさを忘れさせるには十分すぎる長さでした。

私は世間では一応「技術屋」と呼ばれるので、明治期の近代化と第二次世界大戦後の復興が「日本の奇跡」として各国から、特に発展途上国から注目されていることに興味を持ちます。

明治維新以降(19世紀後半)、日本は工業国として奇跡的に著しい成長を遂げました。

この激動の時代に明治政府は富国強兵、殖産興業の名のもとに、国づくりのためにはまず人づくりが先決であり、そのためには教育が必要と考え国家的戦略として教育制度を確立し、各界に優れた人材を輩出しました。

まず政府・民間によって、外国人教師や技師が雇われ、「お雇い外国人」と呼ばれる彼らの指導により西洋の科学技術は本格的に導入され、各種の技術が著しく発展することになりました。来日した「お雇い外国人」は数千人にも及びます。

しかしそれは日本の工業を捨て、単に西洋を模倣するということではなく、江戸時代までの伝統工芸という技術基盤があったからこそ、西洋の近代技術がみごとに融合し日本に根付くことができたと考えられています。

人材育成の面では、例えば山尾庸三は、「たとえ現在見るべき工業なくとも、人をつくればその人が工業を見いだすであろう」と、日本人技術者を自前で養成し、技術の自立化を図ることが急務であり、学校創設が不可欠と考え、工学寮(東京大学工学部)を開校し、工部省の創設に寄与しました。

一方芸能という視点からこの時代をみると富国強兵・殖産興業の時代、日本はひたすら西洋に追いつこうとして「国家に益なき遊芸」というキャッチフレーズのもと、芸能を風俗と見なし疎外しました。

文明開化と称し政府は日本の芸能を改革するという意志はなく、むしろ廃絶を願うべく積極的に取締強化にあたったのです。

それは廃仏毀釈でも明らかのように伝統や文化を差別・軽視する時代でもあったのです。

そのような中、太神楽(大神楽)曲芸師のような他国にはない卓越した技術を持つ日本の軽業師たちは、追われるように活動の場を海外に求め、外国人に雇われるなど、人材流出が続く、この分野が空洞化していきました。

芸能者の海外流出時期が、先に紹介した「お雇い外国人」が多数来日していた時期と見事に重なるというのが興味深いのです。

明治維新以降の激動の時代、人材育成に重点をおき、国内の伝統技術を基盤に外国人を招き入れることにより海外の近代技術を学び工業立国として発展を遂げた日本。

その一方で国家に無用と烙印を押された結果の人材流出で、皮肉にも海外で高い評価を得た代わりに、国内での空洞化を招いた日本の芸能。

両者はあまりに対極的です。

とかく自己の文化を過去の物として否定しがちな大衆の意識は、文化創造といえど立派な劇場を作ることだと勘違いする役人意識と相通する様な気がします。

先の山尾庸三の言葉を借りれば、「人材を作ればその人材が芸能を創り出してくれる」という事になるのでしょうか、とにかくこのジャグリング(曲芸)という分野においても人材育成の必要性については論をまたないでしょう。

しかしながら現状ではこの分野の人材育成に関しては、国家的支援はあまり期待できないというのは薄々感じ取っていただけたと思います。

そんな状況下、個人的にはNPO(注)の活動に期待しているので、ここにジャグリングに関するNPOを二つ紹介しておきましょう。

特に国際サーカス村協会では、サーカス学校の開校を目指し奮闘しているので、人材育成という面で注目しています。

- ・日本ジャグリング協会
(<http://www.juggling.gr.jp/>)
- ・国際サーカス村協会
(<http://www.circus-mura.net/>)

[安部 保範 <abesan@dreamcom>]

(参考文献)

- 『教育が人をつくり、人が工業をつくった』三好信浩/イリューム第23号(Vol.12 No.1)/東京電力
- 『科学・技術史の視点から見る明治日本/日本の近代化は「同種の接ぎ木」』中島秀人/イリューム第23号(Vol.12 No.1)/東京電力
- 『芸能の文明開化』倉田善弘/平凡社刊
- 『<声>の国民国家・日本』兵藤裕己/NHKブックス刊
- 『日本文化の歴史』尾藤正英/岩波新書刊

(注)

NPOとは、「Nonprofit Organization」の頭文字をとったもので、通常「民間非営利組織」と呼ばれています。

NPOは、株式会社など営利企業とは違って、収入から費用を差し引いた利益を関係者に分配しない、非営利活動を行う非政府、民間の組織です。

NPOの活動内容は、保健福祉の増進、社会教育の推進、まちづくり、文化・芸術・スポーツの振興、環境保全、人権擁護、国際協力など多種多様なものがあり、幅広い分野で、日本社会のいたるところに見られるようになりました。



お願い

【サーカス学校を応援する会(案)について】

NPO法人・国際サーカス村協会では現在「サーカス学校」の設立を目指して活動中で、各方面へメセナ活動の協力を願っています。

会員である私も協力したいのですが、年間一口10万円という額は正直言って個人では負担が大きいため、今般「サーカス学校を応援する会(案)」を設立し、学校設立に賛同していただける会員を募集します。

すなわち会員から徴収した会費をメセナ基金として、サーカス村協会へ拠出します。

〔募集要項〕

- 1.名称
サーカス学校を応援する会(案)
- 2.会員資格
サーカス学校設立に関して賛同していただける方ならどなたでも。
- 3.年会費
年間一口5,000円で一口以上
- 4.特典
協会と相談中ですが、あまり期待しないでね。
- 5.その他
協会へのメセナ基金は一口10万円ですから、最低20人以上の会員が集まらないと本会は成立しません。宜しくお願いいたします。
- 6.連絡先
安部保範まで

〔サーカス村学校について〕

- 1.名称
沢入(SOURI)サーカス学校
- 2.開校予定
2001年9月1日
- 3.理念
サーカス、それは、サーカスを生きること。
サーカスは人生であり、生きる希望であり、夢である。
わたし達は、そのサーカスへと、一步一步近づいていく。
- 4.内容
 - (1)期間
4年制
 - (2)募集生徒数
各学年10名程度(但し初年度は、一年生のみを募集)
 - (3)授業内容
1,2年は、基礎訓練。主にアクロバット体操、マット体操を中心とし、サーカスの技を学ぶことのできる身体を作る。3,4年は専門課程とし、それぞれの身体にあったサーカス技の習得を行う。
 - (4)授業料
年間30万円
 - (5)年間スケジュール
始業日:9月1日
前期授業終了日:12月22日
冬休み期間:12月23日～翌年2月末日まで
後期授業開始日:3月1日
後期授業終了日:7月25日
夏休み期間:7月26日～8月31日まで
 - (6)先生
海外、旧ロシア圏からアクロバットの専門家を呼ぶ予定。その他、随時、特別講師を招聘。
 - (7)入学資格
中学卒業以上



書籍紹介

〔HOW TO DO BALANCING TRICKS AND STUNTS〕

書名: HOW TO DO BALANCING TRICKS AND STUNTS
 著者: Dr.DROPO (A.K.A. Bruce Fife)
 Bruce Fife こと Dr.DROPO
 発行: Piccadilly Books (1998)
 価格: 10.00米ドル
 ISBN: 0-941599-37-X
 ページ: 64p.

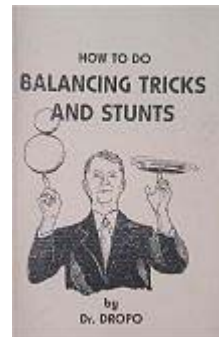
ジャグリングにとっては切っても切り離すことのできない「バランス芸」。
トスジャグリングの教本は数多くありますが、バランスに関する本はあまりお目にかかりませんね。

この本はバランス芸における物理的な原理を述べ、バランスの方法を4つ(垂直バランス、水平バランス、両者の特質を持ったバランス、回転しながらのバランス)にタイプ分けして、それぞれにおける練習方法やコツなどを解説しています。

また歴代の達人たちの凄まじいまでのバランス芸の内容や、シャボン玉のバランスなどちょっと変わった芸も紙上で紹介しているため、独創的なバランス芸を考え出そうとしている人には参考になるかもしれません。

また"Showmanship"の項では、観客へのプレゼンの考え方が述べられています。

観客に印象づけて楽しんでもらうような目立つ技というのは、概して単純なものであり、難しい技をどんなに難しいのか証明するがごとく見せるのではなく、単純な技をいかに難しく見せるかがポイントであり、そのためには単純な技を完全に仕上げるべく練習時間を費やすべきだと述べています。



個人的には皆が皆、そういった方向に走ると演技内容が似通ってくるので、そこにはやはり個人個人の"味付け"は不可欠だと思います。

〔内容〕

- Introduction
- Basic Principles
- Vertical Balancing
- Horizontal Balancing
- Set Balancing
- Balancing Odd-Shaped Objects
- Gyroscopic Balancing
- Advanced Balancing Skills
- Showmanship
- Novelty and Comedy Balancing
- Resources

[安部 保範 <abesan@dream.com>]



お店紹介

[MORRIS COSTUMES]

3108 Monroe Road
Charlotte, NC 28205
U.S.A.

Tel:704-332-3304

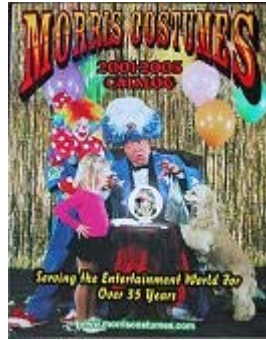
Fax:704-332-4443

E-mail:morriscos@prodigy.net

かれこれ十年ほど前、個人輸入にハマって、ジャグリングをはじめマジックやバルーンなどバラエティアート関連の商品を扱っている欧米のお店からカタログを送ってもらっては眺めて喜んでいました。その際驚いたのは、道具はもちろんのことビデオや書籍の豊富なことでした。

特にこのMORRIS COSTUMES, INC.のカタログは凄いです。現在入手できるのは2001-2005年版で、620ページ(厚さ約3cm)あり7,000点以上の全商品がカラー写真で紹介されています。(ただしカタログは有料で15ドルです)

内容は、それぞれパフォーミングアートの公演に関わる物はほとんど網羅されているのではないのでしょうか。



読者の皆さんが大いに興味のあるジャグリング、クラウニング、マジック、バルーンなどに必要な数々の道具・書籍・ビデオをはじめ、ありとあらゆるタイプのコスチューム、スーツ、マスク、メイクアップ用品、各種用具、はたまた霧・煙・レーザー光線・シャボン玉などを発生させる装置など、特にステージ公演に必要な小物から大物までが揃っています。

要は東急ハンズのパーティ用品売り場に陳列されているような商品が、このカタログには何倍ものボリュームで紹介されているのです。ああいった場所が好きな方にはたまらないカタログでしょう。ちなみにMasterCard、VISA、AMEXが使えます。

[安部 保範 <abesan@dream.com>]



読者から

ジャグパレをいつも読む側なので、自分の方からも何か参考になればと思い、ボールとクラブジャグリングについて少し書きます。

自分が使うボールは、少し大きいステージボール(直径10.2cm)です。このボールで4ボール、5ボールをジャグリングする時は、特に冬場など、手が滑ってちゃんと握れない時があります。今は手が滑らないように、少しだけジュースを手につけて演技をしています。

もっと良い方法があると思いますが、ステージボールを使う人で同じ経験をお持ちの方は、一度試してみてください。

それからクラブですが、今までクラブの練習をしていて、何回かクラブが親指の先に当たって、爪に血豆ができました。

そうならないように、手袋の親指の部分の先に「ティッシュにセロテープを巻いた物」を詰めて練習すると怪我をしないようになりました。3クラブだと手袋をしなくても大丈夫ですが、4クラブ、5クラブの練習を始めたばかりの人の中には、クラブが当たって痛い思いをしたことがある方もいると思います。

以上、2つ書きましたが、皆さんも他にもっと良い方法があれば教えて下さい。

[鹿児島県国分市 久保信政]

編集後記

日本ジャグリング協会が主催するジャグリングの祭典のお知らせで?

名称: JJF2001 (Japan Juggling Festival 2001)

日程: 8月16日(木) ~ 8月18日(土)

場所: 名古屋市守山区大字志段見字生下り2287-1
志段見スポーツランド

問合せ: 日本ジャグリング協会 <<http://www.juggling.gr.jp/>>

ジャグパレは私という一個人が野次馬根性丸出しで、単なる趣味として発行しているものです。従って特定の企業、団体あるいはパフォーマー個人には一切関係していません。(もちろん個人的に応援する団体はありますけれど、公共紙ではないのでその点は大目に見てください)

ジャグパレはWeb上でも見られます。(Webだと写真等はカラーです)紙での郵送が不必要な方はご連絡ください。

WebSite: <<http://homepage1.nifty.com/abesan/>>

編集発行人: 安部保範

住所: 横浜市栄区公田町424-9 (〒247-0014)

E-mail: abesan@dream.com Nifty: QGBO2014

WebSite見世物広場: <<http://plaza4.mbn.or.jp/chansuke/>>



by 安部 侑子